



スクールリポート

SCHOOL REPORT 31

学校生活の一コマ
を紹介

今回は、学校生活の中から、身近な食材を使い調理実習に取り組んだ様子、校庭の温室でイチゴ栽培に取り組んだ様子をご紹介します。

●学校教育課 ☎23局3679

伊良湖岬中学校「家庭科の授業」

命の大切さを感じる調理実習！

昨年10月、伊良湖岬中学校では、2年生の生徒が、家庭科の調理実習で「イワシのさんが焼き」に挑戦しました。

まず、イワシを手開きし、すり身にします。そこに味噌とネギを加え、手でこねて団子状にしたあとフライパンで焼きます。魚を使った料理が食卓でも減ってきている今、海に面した渥美半島でも魚を調理する体験は貴重です。生徒は、イワシを手開きするときには、魚独特の触感を手で味わい、「魚の臭いがする」「ぬるっとしている」など初めての体験に歓声をあげていました。楽しく調理をする体験を通して、命の大切さも感じ取ってくれたようです。



▼イワシを手で開くよ！



▲すり身をこねるよ！



中山小学校「イチゴの栽培」

温室は、ぼくらの「食育」の場！

中山小学校では昨年度、独自の活動を支援する「魅力ある学校づくり事業」で校庭に温室を建て、イチゴの栽培に取り組みました。栽培は主に5年生が担当し、イチゴは12月に白い小さな実を付けました。低学年の子どもは温室を毎日のぞいては、「まだかな」と色づくのを楽しみにしていました。冬休み明け、とうとう真っ赤なイチゴが実りました。さっそく試食開始。みんな、とても満足そうに「おいしい！」を連呼していました。低学年の子どもたちが喜ぶ姿を見て、5年生の子どもたちは「食育」の大切さを感じ取ってくれたようです。



▲真っ赤なイチゴを見つけたよ！

◀おいしいイチゴだよ！

トピックス
topics

●野田小学校 校区で活躍する人物紹介 ありがとう！交通指導員さん

「おはよう。車が来たよ。止まってね」「さようなら。並んで帰るんだよ」などと子どもたちに声を掛ける野田校区の交通指導員の河合さん。河合さんはこの道20年以上のベテランで、子どもたちが安全に登下校できるように見守っています。校区のことや、子どもたち一人一人の成長ぶりもよく見ていて、明るいあいさつで子どもたちを元気にしている存在です。「道のお母さん」と慕われている河合さんは、子どもたちが交通ルールを守り、事故のない生活を送れるようにと願っています。



▲子どもたちが安全に横断できるように見守っています！